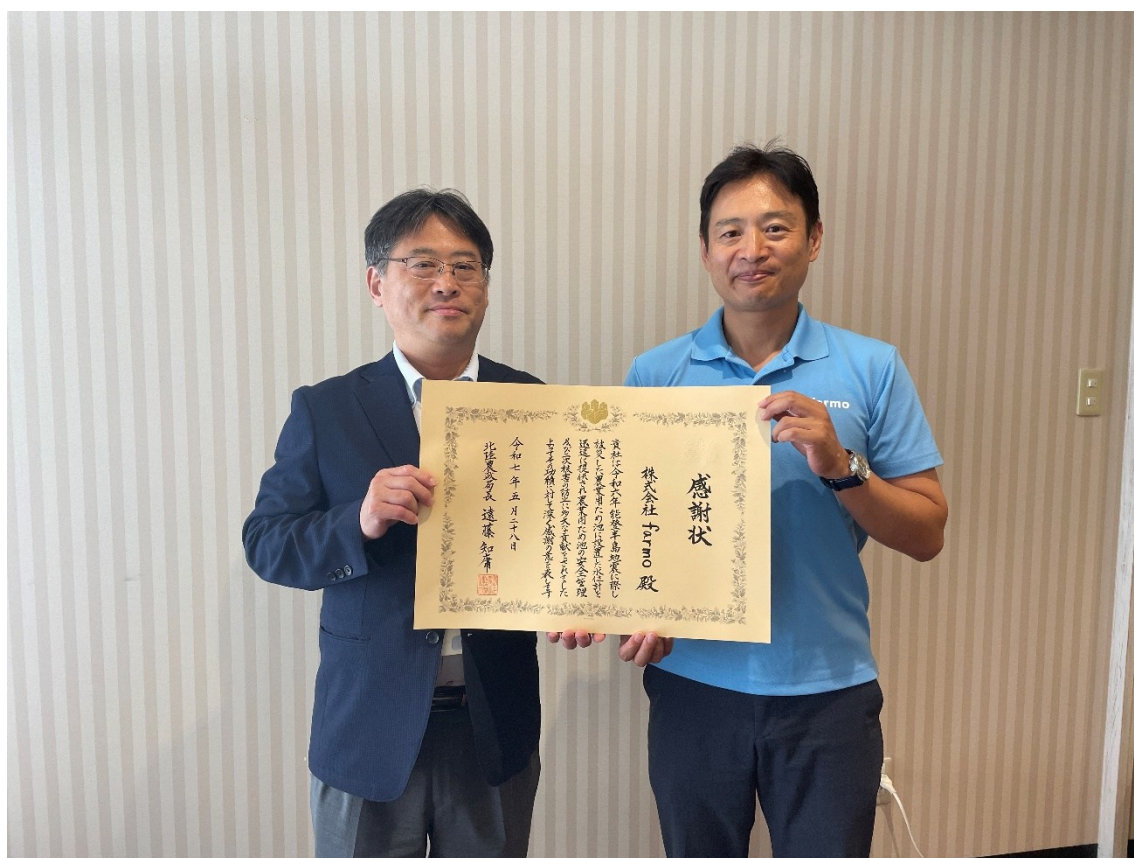


2025 年 8 月 7 日
株式会社 farmo

“遠隔監視”が被災現場を支える farmo の水位センサーが能登で活躍

～ 北陸農政局より感謝状を受賞 ～

IoT で農業課題に取り組む株式会社 farmo（本社：栃木県宇都宮市、代表取締役：永井洋志/以下当社）は、2024 年に発生した能登半島地震において、被災した農業用ため池の安全管理と二次被害防止に貢献した取り組みが評価され、北陸農政局より感謝状を受賞いたしました。



メディア関係の方からのお問い合わせ先

株式会社 farmo 広報担当 小平真李

TEL : 028-649-1740 PHONE : 070-4406-2777 MAIL : kodaira@farmo.co.jp

■ 感謝状授与の背景

能登半島地震により、地域の貴重な用水源である農業用ため池の堤体にひび割れ等が発生しました。特に防災上重要なため池については水位を低く管理しなければなりませんでした。発災当時はため池までの道路が寸断され、また対応できる人手も限られるなど、常時の管理・観測が困難な状況にありました。

そのような中、ため池の水位を遠隔で把握できる仕組みを導入することで、地震後の不安定な現場条件のなか「必要な時だけ現場に赴く」効率的な管理が可能になると考えられました。

そこで導入されたのが、当社の水位センサー「アクアモニター」です。

本製品は安価かつ月額利用料が不要という点と、現場に赴くことなく、リアルタイムで安全に水位を確認できる点が高く評価され、短期間で複数箇所への導入が実現しました。

■ アクアモニターについて

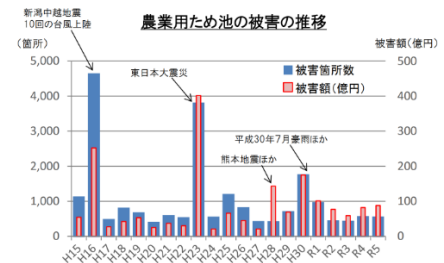
アクアモニターは、クラウドを活用した農業用水位の遠隔監視システムです。現場に設置されたセンサーがリアルタイムで水位情報を取得し、スマートフォンや PC でいつでも確認可能です。携帯電波の届かないような地域でも活用できるのが特長です。



■ 農業用ため池の被災状況

右図にもある通り、近年の自然災害による農業用ため池の被害は、平成 16 年の新潟中越地震と 10 回にわたる台風の上陸や平成 23 年東日本大震災による被害が顕著となっています。（※1）

南海トラフ地震をはじめとする、様々な災害が懸念されている昨今、災害対策は急務となっています。



※1 農林水産省、農業用ため池の被災、

https://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/bousai_saigai/b_tameike/hisai.html （2025 年 8 月 5 日参照）

■ 今後の展望

farmo では今回の経験を活かし、全国各地の農業インフラにおける災害時の安全管理支援をさらに強化してまいります。また、スマート農業の力で、防災・減災への貢献を拡大していく所存です。

■ 会社概要

代表者：代表取締役 永井 洋志

本社所在地：栃木県宇都宮市上欠町 866-1

設立：2005 年 11 月 1 日

資本金：1 億円（資本準備金：2 億 4160 万円）

経営理念：「知恵と技術と心で人を幸せにする企業」

地域や人々のため、常識にとらわれず考え抜く知恵と、能力を高め価値を創造する技術と、困っている人々を救おうとする強い心で人を幸せにする企業を目指します。

主な事業内容：農業用 IoT 製品・サービスの開発・販売

HP： <https://farmo.co.jp/>



メディア関係の方からのお問い合わせ先

株式会社 farmo 広報担当 小平真李

TEL：028-649-1740 PHONE：070-4406-2777 MAIL： kodaira@farmo.co.jp